



12年前日記

1999年12月30日
(木)

山田夫妻

『12年前日記 1999年12月30日(木)』

【1999年12月30日(木)】*2011年12月30日(金)記

9時、起床。荷造り。実はコロコロホテル替えするのは、国際派自称プロ戦場特派員の宿命。誰にいつ命を狙われるか分からない。常に居所をかえ、居場所を特定させてはならぬ。どんな敵かは分からない。だからこそ、怖いのだ。おっと、少しおしゃべりが過ぎたようだ。

11時、チェックアウト。カオサン通りには安宿が腐るほどある。11時30分、近くの『khaosan Palace Hotel』(280B)にチェックイン。例のまずできることから、小さなことからコツコツと精神を発揮し、安いホテルにお引越したので、220Bも安い！ しかも歩きで引越したので、タクシー代もかからない！

さて、通された部屋番号はG4だが、5階建ての5階の部屋。廊下はそこそこ涼しいのに、部屋に一步入るとムアツと蒸し風呂状態だ。最上階ゆえ、天井のすぐ上が屋上だから、昼間は直射日光の照り返しがきついのだろう。なのにエアコンはなし。天井に巨大ファンがキィ〜キィ〜音をたてながら、グルグル回っているが、ただただ熱気をかき混ぜているだけ。

12時30分、内務省探しは今日も暑いのでお休み。安宿の数と同じくらい、ウヨウヨあるネットカフェへ。単なる喫茶店にパソコンが置いてある感じの店が多い気がしなくもないがよく知らん。お値段は1分1Bの明朗会計で、今日は42B。

ネットサーフィンに疲れたので昼飯でも食べようとフラフラ。カオサン通りから少し離れたあたりで、8番ラーメンという日本のラーメンの味がするイカしたお店を発見し、ランチ(107B)。チャーシューメンが55Bで、うれしいことにチャーシューがタイの豚じゃなく、日本の豚の味が。ただ量がとても少ない。それだけは絶対許せない。あ、思わずグルメな一面を、お恥ずかしい限りです。

14時30分、セブンイレブンで3時のオヤツ(33B)を買って、ホテルへ。水シャワーを浴びて、うだる部屋でダラダラ昼寝。

18時、あえて昨晚と同じ店で、同じイカと野菜を乗せたタイ飯(70B)。例のエスパー日本人はいなかった。昨日のダダ漏れ心の声が、今年の日本語しゃべり納めになるだろう。

19時、とっととホテルへ戻り。お洗濯したり、ビデオカメラの説明書読んだり。

24時、さすがに夜はひんやりしてくる、あくまで昼と比べれば。水シャワーをキャーキャー言いながら、浴びて、就寝(一応、登場しときます、12年後、2011年の俺です。もちろんお湯なんて贅沢品は出ません、クーラーもテレビもない安部屋だったから。しかし、まさかこんなところで、毎日毎日判で押したような同じ生活がずっ〜と続くことになるとはまだ当時の俺は夢にも思っていないのであった)。

○本日の出費、「計算するのが面倒臭いから、各々で適当にしといてよ」B。ついでに一日の流れも「いちいちうっとうしいから誰か簡単にまとめといて」ジャ〜。

『12年前日記 1999年12月30日(木)』

<http://p.booklog.jp/book/41611>

著者：山田夫妻

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/yamadafusai/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/41611>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/41611>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.